

問1	若年層の流出にともなう人口減少が続き、地域社会の維持が困難になる現象について、この現象が進行した地域で生じている具体的な課題として最も適切な説明はどれですか。 （2015年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 工場の進出が相次いだことで、大気汚染や水質汚濁などの公害が発生し、居住が困難になる。	2. 労働力となる若者が減ることで、農業などの産業や、地域での共同作業を維持することが難しくなる。	3. 都市の中心部の人口が減少し、夜間の人口が昼間の人口を大幅に下回る現象が深刻化する。	4. 人口が急激に増加したことで、住宅地が不足し、地価が著しく上昇して生活が困窮する。
問2	日本の農業に関する記述として、25年間で就業人口が約4割にまで減少し、就業者の10人のうち7人が65歳以上となった統計結果から読み取る、最も深刻な懸念事項はどれか。 （2022年 三重県公立入試 類似）			
	1. 農業労働力の不足と、それによる国内生産基盤の弱体化	2. 若年層の就業希望者の急増による、農地面積の不足	3. 兼業農家の増加に伴う、農業所得への依存度の低下	4. 食料自給率の劇的な向上と、余剰農産物の廃棄問題
問3	日本の水産業において、人工的に卵をふ化させて育てた稚魚を、ある程度の大きさになってから自然の海へ放流し、成長した後に捕獲する漁業の名称として正しいものを選びなさい。 （2021年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 沖合漁業	2. 栽培漁業	3. 養殖漁業	4. 遠洋漁業
問4	就業者の約40パーセントが第2次産業に従事しており、その割合が全国平均と比較しても高い水準にある自治体があります。このような産業構造を持つ地域で見られる背景として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 （2025年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 高速道路のインターチェンジ周辺などに工業団地が誘致され、多くの製造現場が稼働している。	2. 情報技術（IT）産業の拠点が置かれ、プログラミングやシステム設計を行う者が急増している。	3. 歴史的な街並みを活かした観光業が主軸であり、宿泊業や飲食業の従業者で占められている。	4. 都市近郊に位置し、新鮮な野菜を供給するための近郊農業が極めて盛んに行われている。
問5	国の経済規模を示す指標である「国民総所得」の伸びと、その国から日本を訪れる旅行者数の関係について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 （2016年 広島県公立入試 類似）			
	1. アジア諸国においては、国民総所得の伸びが小さい国ほど訪日旅行者数の増加率が大きくなる	2. 国民総所得の伸びと訪日旅行者数の増加率には、概ね正の相関が見られる	3. 国民総所得が伸びると、生活水準の向上により訪日旅行者数は減少する傾向にある	4. 訪日旅行者数は各国の政策のみに依存するため、国民総所得の伸びとは無関係である
問6	日本の自動車の輸出状況および主要国の生産体制に関する記述として、統計上の事実と合致するものを次の中から選びなさい。 （2017年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 日本の自動車輸出先はすべての地域において2000年より減少しているが、中国だけは自動車生産台数を2010年に向けて維持し続けた。	2. ドイツの自動車生産台数は2000年から現在まで増加し続けており、日本の自動車輸出先はアジア向けよりもヨーロッパ向けの増加率の方が高い。	3. 2000年と2013年の数値を比較すると日本からアメリカへの自動車輸出台数は増加しており、21世紀初頭の10年間で中国は世界有数の自動車生産国へと急成長した。	4. 日本からアメリカへの自動車輸出台数は2000年以降減少の一途をたどっているが、中国の自動車生産台数は2000年から2010年にかけて急激に増加した。
問7	日本の諸地域における農業生産額の部門別内訳を比較した際、米、野菜、畜産、果実などの項目のうち、「米」が占める割合が約5割に達し、他地域と比べて圧倒的に高い割合を示している地方はどこですか。 （2026年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 九州地方	2. 中部地方	3. 関東地方	4. 東北地方
問8	国や地域の産業構造は、輸出される品目の構成に強く反映されます。一般的に、工業が発展している国と、天然資源が豊富な国における輸出の特徴について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 高知県公立入試 類似）			
	1. どの国においても産業構造に関わらず、食料品などの農産物とサービス貿易が輸出額の大部分を占めるのが一般的である。	2. 工業が発展している国では未加工の原料や燃料が輸出の中心となり、資源が豊富な国では高度に加工された機械類が輸出の中心となる。	3. 工業が発展している国では機械類や自動車などの工業製品が輸出の中心となり、資源が豊富な国では石炭や天然ガスなどの鉱産資源が輸出の中心となる。	4. 工業が発展している国では石炭や銅鉱などの鉱産資源が輸出の中心となり、資源が豊富な国では農産物やサービス貿易が輸出の中心となる。
問9	日本の食料需給について、1960年代半ばと現代を比較すると、熱量（カロリー）ベースでの食料自給率は大きく低下しています。食生活の変化によって消費量が増加した「畜産物」の生産が、日本の食料自給率を押し下げる要因となっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2018年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 国内での畜産物の生産効率が向上したことで、海外への輸出量が増え、国内向けの供給量が相対的に減少したため。	2. 輸入飼料の価格が高騰したことで、国内の畜産農家が減少し、代わりに自給率の高い油脂類の生産に転換したため	3. 食生活が欧米化したことで、米の消費量が増加し、それに伴って畜産物の国内生産が縮小してしまったため。	4. 家畜を育てるための飼料の多くを海外からの輸入に頼っており、国内で生産された肉類であっても自給率の計算上は輸入分として扱われるため。
問10	日本の農業における土地利用について、ある地域の耕地面積構成比を全国平均と比較したところ、田の割合が極めて低く、代わりに果樹園や畑の割合が高いことが分かりました。このように地域によって耕地の構成に大きな差異が生じる理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2025年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 大規模な平野が広がっており、大型機械を導入して果樹の集約的な生産を行う必要があるため。	2. 冷涼な気候の影響で稲の生育が困難であり、一年を通じて降水量が極めて少ない乾燥帯に属するため。	3. 傾斜地が多く水はけが良いなど、その地域の地形や気候が特定の作物の栽培に適しているため。	4. 都市部に近く地価が高いため、面積あたりの収益が低い田を減らし、工業用地に転用したため。
問11	1970年代後半から1990年代半ばにかけての、日本とアメリカの間の貿易額の推移を説明した内容として、正しいものはどれですか。 （2020年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 1970年代から1990年代にかけて、日本の対米輸出額は右肩下がりになり減少し続け、1990年代半ばに輸入額と均衡した。	2. 1980年代後半以降、日本国内のエネルギー消費が石炭から石油に転換したことで、アメリカからの輸入額が輸出額を圧倒するようになった。	3. 1985年頃には、日本の対米輸入額が輸出額を一時的に上回っており、日本の貿易赤字が社会問題となった。	4. この期間を通じて日本の輸出額は輸入額を常に上回っており、特に1985年頃にはその差である貿易黒字が最大となった。

日本の資源と産業プリント

名前

- 問1 世界有数の火山国である日本において、再生可能エネルギーとして地熱発電の導入をさらに進めるべきだという議論があります。地熱発電の仕組みや背景に関する説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 風の力を利用してプロペラを回す仕組みであり、騒音問題への対策から山岳地帯よりも沿岸部での開発が優先される。
 2. 地下から取り出した蒸気や熱水でタービンを回す仕組みであり、日本は資源量で世界的に高い潜在能力を持っている。
 3. ダムに貯めた水を放流する際のエネルギーを利用する仕組みであり、地質調査よりも降水量の安定が重要視される。
 4. 化石燃料を燃やして得られる熱を利用する仕組みであり、燃料価格の変動が発電コストに直接影響を与える。
- 問2 日本の農業統計において、愛知県（作付面積5,390ha・収穫量22,800t）と滋賀県（作付面積6,990ha・収穫量19,900t）の小麦生産を比較した際、1ヘクタール当たりの収穫量が多い県とその理由の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 愛知県：滋賀県よりも作付面積が広く、生産効率が高いため。
 2. 愛知県：滋賀県よりも作付面積が狭いが、総収穫量で上回っているため。
 3. 滋賀県：愛知県よりも作付面積が広く、大規模な栽培を行っているため。
 4. 滋賀県：愛知県よりも収穫量は少ないが、作付面積が広いため。
- 問3 1970年代には天然ゴムや魚介類が中心であったタイから日本への輸入品目について、2018年の統計で最も大きな割合を占めるようになり、タイの工業化を象徴している品目は何ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 衣類および繊維製品
 2. 鉄鋼および非鉄金属
 3. 機械類や自動車部品
 4. 原油および天然ガス
- 問4 日本の工業統計において、原料となる原油の国内生産量が年間約500キロリットル程度であるのに対し、輸入量が17万キロリットルを大きく超えているという状況があります。このような原料の海外依存度の高さから、大型船が直接接岸できる海岸沿いに、原料の精製から製品の製造までを行う複数の工場が集まって形成されている集団を何と呼びますか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 資源加工流通センター
 2. 内陸型工業団地
 3. 石油化学コンビナート
 4. 高度技術工業集積
- 問5 日本の遠洋漁業の漁獲量は、1970年代前半に約400万トンでピークに達した後、減少へと転じました。この背景にある要因の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 沿岸諸国による200海里（約370km）水域の設定と、オイルショックに伴う燃料費の高騰
 2. 大型の底引き網漁船の使用禁止と、日本国内の漁港における人手不足の深刻化
 3. 育てる漁業への政策転換と、日本近海における黒潮の蛇行による漁場の消滅
 4. 食生活の欧米化による魚介類の消費減少と、牛肉・豚肉の輸入自由化の拡大
- 問6 2014年の統計において、日本の輸出額の58.1%、輸入額の63.3%を占め、輸出入ともに最大の割合となっている地域を、次のうちから選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 北アメリカ
 2. アジア
 3. ヨーロッパ
 4. オセアニア
- 問7 高度経済成長期以降の日本において、食生活の多様化や欧米化が進んだ背景とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
1. 政府が国民の肥満を防ぐために米の消費を推奨した結果、高度経済成長期には米の消費量が過去最大となり、肉類の消費は停滞した。
 2. 都市部への人口集中により自炊が困難になったため、米や野菜の消費が極端に減り、代わりに魚介類の消費量が肉類を大きく上回るようになった。
 3. 生活水準の向上や都市化の進展により、調理に手間のかからないパンや、肉・乳製品を用いた副菜が増えたことで、米の消費量は減少した。
 4. 海外からの安価な農産物の輸入が完全に禁止されていたため、国内で生産しやすい野菜や果物の消費量だけが特異的に増加した。
- 問8 地方都市（大分県など）の年齢階層別人口移動において、20代の「移動者総数」が全年齢層の中で最大となる主な背景・理由として、正しいものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 定年退職後に都市部から出身地へと戻る「Uターン」による移動が、若年層の移動を上回っているため。
 2. 高校卒業後の大学進学や、大学卒業後の就職に際して、居住地を移動させる人が多いため。
 3. 地方の豊かな自然環境を求めて、子育て世代である20代が家族単位で大量に転入してくるため。
 4. 高度経済成長期に地方から都市部へ移住した世代が、一斉に地方へ帰還し始めているため。
- 問9 ブラジルからの輸入総額が約8041億円であるとき、そのうちの39.4%にあたる約3200億円を占め、日本国内で鉄鋼を生産するための主要な原料として利用されている鉱産資源は何ですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 鉄鉱石
 2. 原油
 3. 大豆
 4. 石炭
- 問10 日本の資源利用の特色として、欧州諸国と比較して一人当たりの年間取水量が非常に多いことが挙げられます。このように日本で大量の水資源が必要とされる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 小麦やトウモロコシを中心とした畑作において、大規模なスプリンクラーによる灌漑を行うため
 2. 重化学工業が発展した結果、工場の冷却水や製品の洗浄水として大量の水を消費するため
 3. 都市化が進んだことにより、家庭での入浴や洗濯などに使われる生活用水が急激に増加したため
 4. 主食である米を生産する稲作において、成長期に水田へ大量の水を引く必要があるため
- 問11 日本の地熱資源量は約2347万kWと推計されており、世界第3位の資源量を有していますが、その開発には大きな課題があります。多くの開発可能地域がどのような場所に位置しているため、開発の制限や調整に時間を要しているといえますか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 大規模な工業団地の造成が計画されている、臨海部の工業地域内。
 2. 景観保護や自然環境の保全を目的とした、国立公園や国定公園の指定区域内。
 3. 送電網の整備が容易な、人口が密集する都市部やその周辺の平地。
 4. 農業振興を最優先とするため、開発行為が厳しく制限されている農振地域内。
- 問12 日本のエネルギー供給の状況を示した資料において、2010年のエネルギー自給率は19.9%でしたが、2012年には6.0%にまで低下しています。この時期のエネルギー供給の内訳の変化について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの供給割合が急激に減少したことで、自給率が押し下げられた。
 2. 原子力発電の割合が縮小したことで自給率が低下し、不足分を補うために石油や天然ガスなどの輸入が増加した。
 3. 水力発電がすべて停止したため、不足した電力を補うために隣国からの電力輸入を本格的に開始した。
 4. 国内の石炭産出量が増加したことにより、これまで輸入していたエネルギーを国内産に切り替えた。

日本の資源と産業プリント

名前

- 問1 日本の農業に関する記述として、25年間で就業人口が約4割にまで減少し、就業者の10人のうち7人が65歳以上となった統計結果から読み取れる、最も深刻な懸念事項はどれか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 農業労働力の不足と、それによる国内生産基盤の弱体化 | 2. 兼業農家の増加に伴う、農業所得への依存度の低下 | 3. 若年層の就業希望者の急増による、農地面積の不足 | 4. 食料自給率の劇的な向上と、余剰農産物の廃棄問題 |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問2 日本では、金などの鉱物資源の国内産出量が、中国やオーストラリアといった主要な産出国に比べて極めて少ない状況にあります。このような背景から、廃棄された携帯電話や家電製品に含まれる有用な金属を回収し、再び資源として活用する取り組みを、ある場所に例えて何といいますか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|---------|-------------|
| 1. リサイクル工場 | 2. 最終処分場 | 3. 都市鉱山 | 4. クリーンセンター |
|------------|----------|---------|-------------|
- 問3 北陸地方や東北地方では、広い耕地を活用した稲作が盛んですが、近年では米の消費量の減少に対応するため、生産調整を行う一方で、より市場価値の高い米を作る努力が続けられています。この地域において、単なる収穫量の確保だけでなく、地域のブランド力を高めるために行われてきた工夫として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|----------------------------------|
| 1. 他地域より収穫を大幅に早めるため、温暖な気候を利用した二期作を導入した。 | 2. 米の生産を休止する代わりに、大規模な施設園芸への転換を全域で行った。 | 3. 収穫量を増やすことのみを目的として、農業を大量に使用した栽培を広めた。 | 4. 冷害に強く、かつ食味の優れたブランド米の品種改良を進めた。 |
|---|---------------------------------------|--|----------------------------------|
- 問4 東京都中央卸売市場における農産物の流通において、季節ごとに主産地が変化する様子を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、1月の取扱数量1位は静岡県、3月と11月は茨城県、8月は長野県であるという統計に基づき考えてください。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 春と秋は、消費地から遠く離れた九州地方などの遠隔地からの出荷が、市場の大部分を占める。 | 2. 1年を通じて、茨城県などの東京都に隣接する県が、すべての月で取扱数量の1位を維持している。 | 3. 冬の間は、日照時間が短く積雪の多い日本海側の地域が、主要な供給地として出荷を伸ばす。 | 4. 夏の間は、冷涼な気候を活かして野菜を生産する長野県などの高冷地が、主要な供給地となる。 |
|--|--|---|--|
- 問5 日本の食料自給率の推移を、野菜・果実・小麦の3つの品目について示した統計において、それぞれの自給率の傾向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 果実は国内での栽培に適しているため高い水準で安定し、野菜は中程度、小麦は消費が減ったため最も低い水準で推移している。 | 2. 野菜は高い水準で安定しているが、小麦はパン食の普及により中程度まで上昇し、果実が最も低い水準で推移している。 | 3. 小麦は大規模な機械化が進んでいるため高い水準で安定し、果実は中程度、野菜は輸入が増加したため最も低い水準で推移している。 | 4. 野菜は鮮度を重視する特性から高い水準で安定し、果実は中程度、小麦は輸入依存度が高いため最も低い水準で推移している。 |
|---|---|---|--|
- 問6 日本の主要な貿易拠点における輸出品目の特徴をまとめたデータにおいて、千葉県に位置する成田国際空港と、神奈川県に位置する横浜港の輸出に関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 成田国際空港では通信機や医薬品などの高付加価値製品が、横浜港では完成車などの自動車为主な輸対象となっている。 | 2. 成田国際空港では鉄鋼や石油化学製品が、横浜港では集積回路や電子部品が主な輸対象となっている。 | 3. 成田国際空港では衣類や食料品などの軽工業製品が、横浜港では鉄鉱石や石炭といった原料が主な輸対象となっている。 | 4. 成田国際空港では自動車本体が、横浜港では原油や液化天然ガス（LNG）などのエネルギー資源が主な輸対象となっている。 |
|---|---|---|--|
- 問7 1950年代から1970年代にかけて整備が進んだ日本の水道事業が、現代において直面している課題とその背景について述べた文として、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 水道事業の運営資金はすべて国の税金で賄われているため、地方公共団体の財政状況は水道管の更新に影響しない。 | 2. 高度経済成長期に整備された水道管の老朽化が進んでおり、事業を運営する地方公共団体による計画的な更新が課題となっている。 | 3. 大正時代から使用されている水道管の老朽化に対し、国が全国一律の料金を設定して改修費用をすべて負担している。 | 4. 高度経済成長期に整備された水道設備はすべて更新が完了したため、老朽化の問題は解決している。 |
|---|--|--|--|
- 問8 日本の2023年における資源の輸入先について、鉄鉱石の輸入割合でオーストラリアに次ぎ、全体の約3割（30.9%）を占めている南アメリカの国はどこですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1. ブラジル | 2. カナダ | 3. 南アフリカ | 4. カタール |
|---------|--------|----------|---------|
- 問9 多くの地場産業は、安価な輸入製品との競争や後継者不足などの課題を抱えています。こうした中で、地域の伝統的な産業を維持・発展させるための取り組みとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. コストを削減するために伝統的な工程を廃止し、すべて機械による自動化に切り替える。 | 2. 伝統的な技術に現代のデザインを融合させ、独自のブランド化を推進する。 | 3. 原材料をすべて安価な外国産に変更し、価格競争力のみを追求する。 | 4. 販売網をその地域内だけに限定し、外部への情報発信を控える。 |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問10 近畿、中国・四国、九州地方の主要な府県である大阪府、広島県、福岡県の3地点における1990年と2010年の人口統計を比較したとき、すべての地点および時期において共通して成立する記述として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------|----------------------|---|
| 1. 昼間人口と夜間人口の差が、20年間の間に完全になくなっている。 | 2. 昼間人口が夜間人口を上回っている。 | 3. 夜間人口が昼間人口を上回っている。 | 4. 1990年時点よりも、2010年時点の方が夜間人口が大幅に減少している。 |
|------------------------------------|----------------------|----------------------|---|
- 問11 日本の諸地方を比較した統計において、ある地方は鉄道による旅客輸送量が年間約49億人に達しており、これは関東地方に次いで多い数値となっています。大阪・京都・神戸を中心とした都市圏が形成され、鉄道網が高度に発達しているこの地方はどこですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 近畿地方 | 2. 中部地方 | 3. 中国・四国地方 | 4. 東北地方 |
|---------|---------|------------|---------|
- 問12 日本国内における水産物の需要低下に対応するため、宮崎県などの自治体や水産事業者が行っている取り組みの説明として、最も適切なものを次のうちから1つ選んでください。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 水産物の国内における購入量を法的に制限する取り組み | 2. 国内で消費する全水産物を輸入に切り替える取り組み | 3. 沿岸地域で行う遠洋漁業の規模を大幅に縮小する取り組み | 4. 海外市場に向けた水産物の輸出拡大を推進する取り組み |
|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------------------|

日本の資源と産業プリン ト

名前

- 問1 日本の農産物統計において、静岡県や鹿児島県が生産量の上位を占める「茶」が、平地ではなく牧之原などの「台地」で大規模に栽培されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 周囲より一段高い地形であり、水はけが良いため稲作には適さなかったから。 | 2. 大消費地に近い斜面地であるため、輸送コストを抑えて新鮮な野菜を出荷できるから | 3. 火山灰が堆積した平坦な土地であり、大型の機械を用いた水田開発が容易だったから。 | 4. 標高が高いため年間を通じて冷涼であり、病害虫の発生が極めて少ないから。 |
|--|---|--|--|
- 問2 世界と日本のつながりを示す統計において、1980年から2014年にかけての神戸港のコンテナ取扱量の変化について述べた文として正しいものはどれか選びなさい。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 神戸港は1980年から2014年にかけて、世界最大のコンテナ取扱量を維持している。 | 2. 2014年のコンテナ取扱量は、1980年の取扱量を下回っている。 | 3. コンテナによる輸送は衰退し、1980年以降はパレク（バラ積み）貨物が主流となった。 | 4. 2014年のコンテナ取扱量は、1980年の取扱量を上回っている。 |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問3 日本の製造業において、大企業（従業者300人以上）と中小企業（従業者299人以下）の構成比を比べたとき、大企業と中小企業がそれぞれ全体の約50%ずつを占め、両者がほぼ同程度の割合となっている指標はどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|------------|
| 1. 事業所数 | 2. 製造品出荷額等 | 3. 従業者数 | 4. 工場の敷地面積 |
|---------|------------|---------|------------|
- 問4 世界の食料需給に関連して、「仮想水（バーチャルウォーター）」という考え方が注目されています。農畜産物の生産に必要なとされる仮想水について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 農畜産物を加工して製品にする段階で、工場の機械を冷却したり洗浄したりするために使用される水の総量を指す概念である。 | 2. 農作物を輸出する際、その農作物の組織内に含まれている水分量を計算し、輸出先の国へ移動した水として定義する数値のことである。 | 3. 乾燥帯の国々において、農作物を栽培するために地下からくみ上げられた化石水が、蒸発して失われる量を推計したものである。 | 4. 家畜を育てるための直接的な飲み水だけでなく、その餌となる飼料作物を栽培するために大量に消費された水を含めて考える概念である。 |
|--|--|---|---|
- 問5 あるみかん農家が、収穫したみかんの一部をジュースやゼリーに加工し、それらを自ら運営する直売所で消費者に直接販売しています。このような取り組みを行う主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 海外から安価な原材料を輸入することで、加工品の製造コストを大幅に削減すること | 2. 農産物に加工や販売という工程を加えることで付加価値を高め、農家の所得を向上させること | 3. 化学肥料や農薬を一切使わない農法に切り替えることで、農作物の安全性をアピールすること | 4. 農地を大規模に集約して大型機械を導入し、みかんの生産効率を極限まで高めること |
|---|---|---|---|
- 問6 1980年代半ばから2010年頃にかけて、為替相場が1ドル250円台から100円前後へと「円高」が進みました。この期間に日本の製造業において、国内での生産を減らし「海外生産比率」を上昇させた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 円高によって輸入原材料の価格が上昇したため、国内での生産コストが急増し、原材料の産地に近い場所へ拠点を移すことが不可欠になったから。 | 2. 日本国内の労働賃金が海外に比べて大幅に下落したため、熟練した労働者を確保しやすい海外へ進出することで、製品の質を向上させる必要があったから。 | 3. 急激な円安の進行に伴い、国内での設備投資が困難になったため、海外の資本を利用して現地法人を設立し、生産体制を維持しようとしたから。 | 4. 円高によって日本国内で作った製品の輸出価格が実質的に上がり、価格競争力が低下したため、現地で安く作ることで生産にかかる費用を抑える必要があったから。 |
|---|---|--|---|
- 問7 ある地方の産業統計を見ると、製造品出荷額が約82兆円という極めて高い数値を示しており、全国で最大となっています。これは、この地方に日本最大の工業地帯である中京工業地帯が位置していることが大きく影響しています。この地方の名称を答えなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近畿地方 | 2. 関東地方 | 3. 九州地方 | 4. 中部地方 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 岐阜県、三重県、山口県、福岡県の4県における、それぞれの県内の総発電量に占める各発電方式の割合を比較したとき、火力発電が占める割合が最も低い県はどこですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 三重県 | 2. 福岡県 | 3. 山口県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の都道府県別の人口統計において、老年人口割合が相対的に低くなっている東京都や愛知県などの地域の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 農業や漁業などの第一次産業に従事する高齢者が不足しており、高齢者人口そのものが地方より極端に少ないため。 | 2. 人口密度が低く、高齢者が生活するための社会保障制度が地方部よりも遅れているため。 | 3. 他の地域から進学や就職のために若年層が多く流入しており、人口に占める高齢者の割合が相対的に押し下げられているため。 | 4. 全国的な少子高齢化の影響をほとんど受けておらず、年少人口の割合が戦後直後の水準を維持しているため。 |
|---|---|--|--|
- 問10 日本は原油輸入の大部分をサウジアラビアやアラブ首長国連邦などの特定の地域に依存していますが、このような供給体制が日本経済に与える影響や課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 原油の輸入価格は日本政府が決定権を持っているため、産油国の経済状況が日本のエネルギー価格に影響することはない。 | 2. 産油国による原油価格の引き上げや地域の情勢不安が、日本の物価や企業活動に大きな影響を及ぼすリスクがある。 | 3. 輸入先が特定の地域に集中していることで、輸送ルートが限定されるため、常に安価で安定した供給が保証されている。 | 4. 西アジア以外の地域からの輸入割合がすでに5割を超えているため、特定の地域で紛争が起きても日本経済への影響は限定的である。 |
|--|---|---|---|
- 問11 日本において、サービス業や情報通信業、医療・福祉などの第三次産業が、全産業の中で最も高い就業人口比率を占めるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 製造業における自動化・ロボット化が全く進まず、工場の生産ラインに膨大な労働力が必要となったため | 2. 政府が食料自給率の向上を最優先事項とし、農村部から都市部への人口移動を厳しく制限したため | 3. エネルギー資源の自給率が極めて高く、鉱業やエネルギー産業が労働力の大部分を吸収しているため | 4. 生活水準の向上や高齢社会の進展により、医療、介護、レジャーなどのサービスへの需要が増大したため |
|--|---|--|--|
- 問12 高度経済成長期における日本の工業生産において、特定の工業拠点の「生産量」と「全国シェア」の関係性について述べた以下の文のうち、正しいものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 生産シェアが低下している拠点は、例外なくその製品の生産量そのものが減少していることを意味する。 | 2. 全国的な工業生産の拡大局面では、拠点の生産量が増加していても、全体の成長速度が速ければシェアが低下することがある。 | 3. 高度経済成長期には、すべての工業拠点で生産量と全国シェアが比例して上昇し続ける現象が起きた。 | 4. 鉄鋼業などの重化学工業においては、内陸部への工場移転が進んだため、沿岸部の拠点の生産量とシェアは一貫して減少した。 |
|--|--|---|--|

日本の資源と産業プリン ト

名前

- 問1 2021年度の日本国内における風力発電量の統計において、北海道・東北地方は約42.0億kWhと、国内の他の地方に比べて最も多い発電量を記録しています。このように、風力発電の導入が特定の地域で盛んになっている主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 火山活動が活発であり、地熱を利用した発電方法と組み合わせで効率を高めることができるため | 2. 一年を通して安定した強い風が吹きやすい沿岸部や平坦な土地、山間部などの適地が多いため | 3. 大規模な火力発電所や原子力発電所が集中しており、送電設備が他の地域よりも整っているため | 4. 人口密度が非常に高く、電力消費量が多いため、都市部近郊に発電所を建設する必要があるため |
|--|---|--|--|
- 問2 日本の諸地域の産業を比較した際、米や果実などの農業産出額に対して、製造品出荷額が14兆円を超えるほど非常に高い数値を示し、工業が県の産業において大きな割合を占めている県はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 山形県 | 2. 和歌山県 | 3. 静岡県 | 4. 茨城県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問3 日本の主な発電所の立地について、火力発電所や原子力発電所が主に海岸沿いに位置するのに対し、水力発電所が特に内陸の山間部に多く建設されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都市部での電力消費が多いため、送電時の電力ロスを減らす目的で消費地に近い山岳部に建設するため | 2. 急峻な地形と豊富な降水量を利用して、ダムに貯めた水を高い所から落とすエネルギーを活用するため | 3. 海外から輸入される石炭や液化天然ガス（LNG）を、山間部にある専用のパイプラインで直接運び込みやすくするため | 4. 発電の際に発生する大量の熱を冷却するために、周囲に障害物の少ない標高の高い土地が必要となるため |
|---|---|---|--|
- 問4 東日本大震災後の日本における電源構成の変化と、それに伴う課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 安全性の観点から原子力発電の割合が大幅に低下し、それを補うために天然ガスを用いた火力発電が急増したことで、燃料費の支払いによる貿易赤字が問題となった。 | 2. 輸入燃料への依存を減らすため、震災後すぐにすべての原子力発電所を再稼働させ、震災前よりも原子力の比率を引き上げた。 | 3. 震災直後から地球温暖化対策が最優先され、火力発電を段階的に廃止した結果、現在は再生可能エネルギーが日本の全発電量の半分以上を占めている。 | 4. エネルギー自給率を高めるため、震災によって稼働が止まった原子力発電に代わり、国内で産出される石炭を用いた発電が最も高い伸び率を記録した。 |
|--|--|---|---|
- 問5 日本の食料自給率は、主要な先進国の中でも低い水準にあります。現在の日本における農産物の輸入状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. とうもろこしや大豆などは国内自給率が低く、輸入割合においてアメリカ合衆国への依存度が極めて高い。 | 2. 食料自給率を向上させるため、政府はアメリカ合衆国からの農産物の輸入を全面的に禁止している。 | 3. 輸送距離を短縮して鮮度を保つため、農産物の輸入先はすべて近隣のアジア諸国に限定されている。 | 4. 地産地消の取り組みが全国で進んだ結果、主要な農産物のすべてを国内生産だけでまかなえるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問6 九州地方の大大分県と熊本県にまたがる九重連山村近では、八丁原（はっちょうばる）発電所のように、火山のエネルギーを直接利用した発電が盛んです。このような発電所が多く分布する地域の自然条件と、発電方式の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 火山帯に位置しており、地下のマグマの熱を利用する地熱発電 | 2. 大規模な港湾に面しており、海外から輸入した燃料を利用する火力発電 | 3. 降水量が多く、急峻な山地を流れる河川を利用する水力発電 | 4. 平地が広がっており、年間を通して強い季節風が吹く風力発電 |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
- 問7 地元で生産された農林水産物を、その地域の中で消費する「地産地消」という取り組みによって期待される効果として、最も適切なものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 気候や土壌などの自然環境に合わせて、最も適した作物を大規模に生産し、全国的な供給を安定させる。 | 2. 海外からの安価な農産物の輸入を完全に停止し、国内の農家を保護することで食料自給率の向上を図る。 | 3. 輸送距離が短くなるため、鮮度の高い食材を消費者に届けられるとともに、二酸化炭素の排出を抑えられる。 | 4. 必要な農作物をすべて自分たちで生産し、外部からの購入を一切行わないことで、食料の自給率を極限まで高める。 |
|--|--|--|---|
- 問8 大阪府の堺市や和泉市にまたがる泉北ニュータウンにおける、2012年から2022年にかけての人口構成の変化について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この期間の統計では、65歳以上の年齢層の幅が広がり、若年層や子供の層が細くなっていることが確認されています。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 1. 全世代の人口が均等に推移しており、開発当初の人口構成が維持された。 | 2. 高齢化率が上昇し、子供や若年層の割合が低下して少子高齢化が急速に進行した。 | 3. 働く世代である生産年齢人口が大幅に増加し、年少人口の割合も向上した。 | 4. 大規模な再開発により若年層の流入が続き、高齢者の割合が大幅に減少した。 |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
- 問9 日本の農業における耕地面積の規模と、新技術導入のコストの関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本の農家の過半数は大規模経営であるため、新技術の導入によるコスト負担の問題は解消されている。 | 2. 耕地面積の規模が小さくなるほど、機械利用などにかかる面積あたりの経費が上昇する傾向がある。 | 3. 耕地面積が小さい農家ほど、少ない投資で最新の農業機械を効率よく使いこなせることが統計で示されている。 | 4. 農業機械の導入コストは耕地面積の大きさに完全に比例するため、面積が小さいほど負担も軽くなる。 |
|--|--|---|---|
- 問10 日本の工業地帯・地域ごとの産業特色について、製造品出荷額の割合に基づいた記述として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 阪神工業地帯は金属工業の割合が約21パーセントと高く、瀬戸内工業地域は化学工業の割合が約25パーセントと高い。 | 2. 瀬戸内工業地域は機械工業の割合が約67パーセントと最も高く、自動車生産の拠点となっている。 | 3. 中京工業地帯は化学工業の割合が約67パーセントに達し、他地域を圧倒している。 | 4. 阪神工業地帯は化学工業の割合が約25パーセントと高く、瀬戸内工業地域は金属工業の割合が約21パーセントと高い。 |
|--|--|---|--|
- 問11 東北・北陸地方の各県における農業産出額の内訳を比較したとき、新潟県や富山県では「米」の占める割合が非常に高く、農業産出額の7割前後が稲作によるものです。これに対し、最上川流域の盆地などを中心に「果実」の生産が盛んで、他の2県に比べて農業産出額に占める果実の割合が統計上明らかに高い県はどこですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山形県 | 2. 富山県 | 3. 新潟県 | 4. 福島県 |
|--------|--------|--------|--------|

日本の資源と産業プリン ト

名前

問1 日本が輸入している主な鉱産資源と、その主な輸入先相手国の組み合わせとして最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

1. 鉄鉱石 — ブラジル 2. 鉄鉱石 — アラブ首長国連邦 3. 石炭 — サウジアラビア 4. 原油 — オーストラリア

問2 かぼちゃの入荷統計において、国内産が多く出回る6月から11月に外国産の輸入が減少し、国内産が不足する12月から5月に外国産の輸入が増加する仕組みが見られます。このような供給体制を維持するために、日本が主に行っている工夫として適切な説明はどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)

1. 日本と季節が反対になる南半球の国々など、収穫時期が異なる地域から輸入を行っている。 2. 外国産の鮮度を保つため、収穫から数ヶ月間、現地の大型冷蔵庫で保管してから日本へ輸送している。 3. 国内産の価格を維持するために、国内産の収穫時期にのみ高い関税をかけて輸入を禁止している。 4. 国内産の品質が低下する冬の時期にのみ、品種改良された輸入専用のかぼちゃを海外で生産させている。

問3 2019年と2023年の主要な都道府県における訪日外国人旅行者の統計データを比較したとき、旅行消費額の拡大に寄与したと考えられる共通の変化はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

1. 訪問客数が2019年よりも減少した地域においてのみ、一人当たりの消費単価が上昇した。 2. 主要な都道府県のうち、一部の地域では消費単価が減少したが、東京などの大都市圏での大幅な上昇が全体を押し上げた。 3. 旅行者の滞在期間が短縮されたことにより、回転率が上がって一人当たりの消費単価が全国一律で減少した。 4. 主要な6つの都道府県のすべてにおいて、旅行者一人当たりの消費単価が2019年よりも上昇した。

問4 日本の工業構造の変化について、1970年代から現代に至るまでの各部門の出荷額の割合の推移を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)

1. 化学工業の出荷額が1970年代と比較して極端に減少し、国内の製造業における地位を失った。 2. 重化学工業の割合が全体的に縮小し、代わって食料品工業などの軽工業が最大の割合を占めるようになった。 3. 機械工業の割合が大幅に増加する一方で、かつて主要産業であった繊維工業の割合が激減した。 4. 繊維工業の出荷額が右肩上がりに増加し、機械工業を上回る主要な輸出産業となった。

問5 日本の年齢別人口構成の変化を示した資料において、1985年に比べて2015年は若年層の割合が小さくなり、高齢者層が厚くなっていることが分かります。このような社会の変化が、地域の祭りや伝統芸能の存続にどのような影響を与えているか、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

1. 都市部への人口集中により、地域住民が伝統文化への関心を全く持たなくなっている。 2. 過疎化が進んだことで、伝統文化を維持するための経済的基盤が完全に失われている。 3. 少子高齢化によって伝統文化を継承する若い世代が減少し、その存続が危ぶまれている。 4. 国際化の影響で海外の文化が流入し、日本の伝統文化が法的に禁止されつつある。

問6 1970年代以降の日本の漁業において、各国の排他的経済水域（EEZ）後の水産物供給の動向の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)

1. 遠洋漁業の生産量が激減し、それを補うように水産物の輸入量が一貫して増加した 2. 沿岸漁業の生産量が激減し、それを補うように海面養殖業の生産量が増加した 3. 沖合漁業の生産量が激減し、それを補うように沿岸漁業の生産量が増加した 4. 遠洋漁業の生産量が激減し、それを補うように沖合漁業の生産量が一貫して増加した

問7 日本の米の生産と消費の現状について述べた次の文のうち、1980年代後半以降の統計的な傾向と一致するものはどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)

1. 生産量は右肩下がりに減少しているが、自給率は100パーセント付近で横ばいとなっている 2. 生産量も消費量も増加傾向にあるが、食料自給率全体で見ると米の割合は低くなっている 3. 生産量は増加し続けているが、消費量の増加がそれを上回るため、自給率は低下している 4. 消費量が急激に増加したため、不足分を輸入で補うようになり、自給率は大幅に低下した

問8 沖縄県的那覇空港について、東京（羽田）、上海、香港、ソウル（仁川）、台北といった東アジアの主要都市が那覇を中心にほぼ円を描くように配置され、それぞれが太い航路で結ばれている状況を説明した資料があります。このように、地理的優位性を活かして人や物の輸送の拠点となる役割を何といいますか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)

1. 貿易摩擦 2. リニア中央新幹線構想 3. シャトル輸送 4. ハブ機能

問9 日本の産業構造の変化を整理した資料において、1980年代後半から第二次産業に従事する人の割合が減少に転じている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)

1. 安価な労働力や市場を求め、製造業者が生産拠点を海外へ移転させたため 2. 国内の消費が低迷したため、すべての製造業者がサービス業に転換したため 3. 原料を輸入して製品を輸出する加工貿易を、政府が全面的に禁止したため 4. 重化学工業から軽工業へと産業の主軸が移り、必要な労働力が激減したため

問10 日本の水産業で行われている「育てる漁業」のうち、卵からふ化させた稚魚を一定の大きさまで人工的に育てた後、自然の海や川へ放流し、成長してから漁獲する仕組みを何といいますか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)

1. 遠洋漁業 2. 栽培漁業 3. 養殖業 4. 沖合漁業

問11 バイオマス資源の活用においては、資源を広範囲から集める際に発生する「収集・運搬コスト」が大きな課題となっています。この課題を解決するために、特定の産業が発達した地域で発生する多量の廃棄物を燃料として利用する仕組みが取り入れられています。このような取り組みの背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 広島県公立入試 類似)

1. 化石燃料を海外から輸入する際の輸送コストを削減するために、都市部から出る廃プラスチックを優先して利用する。 2. 地域の産業活動から生じる副産物を資源として再定義し、エネルギー供給の安定化とコスト削減を両立させる。 3. 広大な土地に太陽光パネルを設置し、産業廃棄物の処分場を売電収入によって維持管理する。 4. 農作物の生産を一時的に停止させ、エネルギー専用の植物を大規模に栽培することで供給量を確保する。

問12 成田国際空港における2020年の輸出統計を見ると、半導体等製造装置や電気計測機器と並んで、IC（集積回路）が輸出上位品目に含まれています。これらの製品が、船舶ではなく航空機を利用して輸送される理由として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 鮮度の劣化が激しい生鮮食品と同じ性質を持ち、数日以内の配送が義務付けられているため 2. 製品の体積が極めて大きく、船舶のコンテナには収まらない特殊な形状をしているため 3. 製品が軽量かつ高価であり、輸送コストを負担しても輸送時間を短縮するメリットが大きいため 4. 製品が非常に重く、大型貨物船の積載制限を超えてしまう恐れがあるため

- 問1 現代の日本において、福岡市のような大都市圏では第3次産業に従事する人の割合が非常に高くなっています。都市部において、農村部と比較して第3次産業が発達する理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 自然環境を活かした観光資源が豊富であり、キャンプ場や林業の経営が主な収益源だから | 2. 原料の輸入に便利な港湾施設が整備されており、鉄鋼や化学製品などの製造が中心だから | 3. 平坦で広い土地を確保しやすいため、大規模な機械化農業を行う環境が整っているため | 4. 人口が密集しており、多様な生活を支える小売業やサービス業への需要が非常に大きいため |
|---|---|--|--|
- 問2 あるみかん農家が、収穫したみかんの一部をジュースやゼリーに加工し、それらを自ら運営する直売所で消費者に直接販売しています。このような取り組みを行う主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 海外から安価な原材料を輸入することで、加工品の製造コストを大幅に削減すること | 2. 農産物に加工や販売という工程を加えることで付加価値を高め、農家の所得を向上させること | 3. 農地を大規模に集約して大型機械を導入し、みかんの生産効率を極限まで高めること | 4. 化学肥料や農薬を一切使わない農法に切り替えることで、農作物の安全性をアピールすること |
|---|---|---|---|
- 問3 日本が、不要になった家電製品からレアメタルを回収し、リサイクルを推進している理由として、世界の資源状況を踏まえた背景を説明したも
のとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. レアメタルは日本国内の山地で容易に大量採取できるため、採掘コストを抑えて生産を増やすため | 2. 家電製品を不法投棄することによって、土壌に含まれるレアメタルが自然に増殖するのを防ぐため | 3. レアメタルの産出地は特定の国に偏っており、輸入が滞るリスクに備えて資源の安定確保を図るため | 4. 不要になった家電製品をそのまま海外へ輸出し、輸出額を増やすことで貿易黒字を維持するため |
|---|---|--|--|
- 問4 長野県の野辺山原のような標高の高い地域では、夏の気温が平地に比べて低いという気候条件を活かして、他の地域での生産が難しい夏から秋にかけてレタスなどの高原野菜を出荷しています。このように、自然環境を利用して出荷時期を遅らせる栽培方法を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 二毛作 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 抑制栽培 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問5 農産物の産地を比較した説明として正しいものを、次のうちから選びなさい。なお、データ上の特徴として、Aは北海道が収穫量の大部分を占め長崎県が上位に入り、Bは鹿児島県と茨城県が収穫量の上位を占めているものとします。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-------------------|----------------------------|------------------------|
| 1. Aはじゃがいも、Bはさつまいもである。 | 2. Aはてんさい、Bは茶である。 | 3. Aは乳牛の飼育頭数、Bは肉牛の飼育頭数である。 | 4. Aはさつまいも、Bはじゃがいもである。 |
|------------------------|-------------------|----------------------------|------------------------|
- 問6 複雑な海岸線を持つリアス海岸の統計において、三重県などで生産額が上位を占める「真珠」や、広島県・宮城県などで盛んな「カキ」の生産は、共通してどのような環境上の利点を活用していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 入り江によって外洋の荒波から守られた、波の静かな環境 | 2. 暖流と寒流がぶつかり合い、プランクトンが大量に発生する環境 | 3. 干潮時に広大な砂地が現れ、日光による殺菌が行われる環境 | 4. 大陸棚が広がり、太陽の光が海底まで届く浅瀬の環境 |
|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
- 問7 ある国の貿易データによると、輸出総額のうち原油が80.6%を占めており、上位の輸出品目が特定の資源に集中しています。このような国の貿易構造の特徴を表す説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 加工貿易を中心とした、高付加価値製品主体の貿易構造である。 | 2. 自動車や精密機械などの工業製品の輸出が大半を占める貿易構造である。 | 3. 小麦や大豆などの農産物をを中心に輸出する貿易構造である。 | 4. 特定の鉱産資源の輸出への依存度が非常に高い貿易構造である。 |
|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問8 山形県で生産が盛んな果実であるさくらんぼ、ぶどう、りんご、西洋なしの統計を比較した際、栽培面積に対する収穫量の割合、つまり「単位面積あたりの収穫量」が最も高く、高い土地生産性を示している果実はどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|---------|--------|
| 1. さくらんぼ | 2. ぶどう | 3. 西洋なし | 4. りんご |
|----------|--------|---------|--------|
- 問9 2020年度の日本の統計によると、国内の貨物輸送における二酸化炭素排出量は、輸送量あたりで自動車（営業用貨物車）が1431gであるのに対し、船舶は43g、鉄道は21gと大きな差があります。こうした現状を踏まえ、環境負荷を抑えるために進められている「モーダルシフト」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 石油資源の消費を抑えるために、化石燃料を使用する輸送手段から電気自動車による輸送へ全面的に転換すること | 2. 物流の効率化を図るために、大型トラックによる長距離輸送から小型トラックによる個別配送へ転換すること | 3. 二酸化炭素排出量が多い自動車から、排出量の少ない鉄道や船舶による輸送へ転換すること | 4. 都市部の渋滞を解消するために、貨物輸送を地上から地下鉄や専用の地下トンネルを用いた輸送へ転換すること |
|--|--|--|---|
- 問10 日本の国内貨物輸送の推移において、1950年には全体の3割以上の割合を占めていた主要な輸送手段であったものの、1990年には1%程度にまでその割合が大きく低下した輸送手段として適切なものはどれか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-------------|
| 1. 航空機による輸送 | 2. 鉄道による輸送 | 3. 船による輸送 | 4. 自動車による輸送 |
|-------------|------------|-----------|-------------|
- 問11 日本の統計において生乳の生産量が全国で最も多い北海道では、生産された乳をそのまま出荷するだけでなく、バターやチーズなどの加工品にする割合が高いという特徴があります。その理由として最も適切なものはどれですか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 北海道の気候では冬に生乳が凍結してしまうため、あらかじめ加工しておく必要があるから | 2. 近郊農業の一種として、新鮮な状態ですぐに消費者に届けことが困難だから | 3. 大消費地から遠いため、加工して保存性を高めるとともに輸送しやすくする必要があるから | 4. 乳牛の飼育頭数が多すぎるため、生乳のままでは市場価格が暴落してしまうから |
|--|---------------------------------------|--|---|
- 問12 2017年の産業別就業者数の統計において、東京都、大阪府、福岡県といった大都市圏のほかに、北海道や沖縄県でも第3次産業の就業者が全体の75%以上を占めています。北海道や沖縄県でこの割合が特に高くなっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 豊かな自然環境を活かした観光業やサービス業が発展しているため。 | 2. 臨海部に多くの工業地帯が形成され、製造業の雇用が大きいため。 | 3. 豊かな水産資源を背景とした水産加工業などの製造業が盛んであるため。 | 4. 広大な土地を利用した大規模な機械化農業や酪農が産業の中心であるため。 |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

- 問1 滋賀県では「びわ湖材」の利用を広めるため、行政、企業、住民が連携した様々な活動が行われています。この取り組みの具体例として、地域の経済や環境に配慮した最も適切な活動はどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地元の企業が「びわ湖材」を用いた学校用の机や椅子を開発し、県がその製品の導入や購入を支援することで、地域内での資源循環を図る活動。 | 2. 森林の保護を最優先するため、県内での木材の伐採を法律で厳しく制限し、必要な木材はすべて県外や海外から調達する活動。 | 3. 全国植樹祭などの行事を通じて木を植えることだけを強調し、成長した木については一切利用せずに放置しておく活動。 | 4. 「びわ湖材」という名称を使いながらも、実際にはコストの低い外国産の木材を混ぜて製品化し、販売利益を最大化する活動。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本の国内輸送において、1960年には旅客輸送の分担率がわずか0.3%であったものの、2014年には6.3%まで上昇した交通機関があります。この交通機関は貨物輸送の重量ベースでの割合は0.3%と極めて小さいですが、IC（集積回路）などの製品輸送に利用されています。この交通機関として最も適切なものを選択してください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 航空輸送 | 2. 自動車輸送 | 3. 鉄道輸送 | 4. 船舶輸送 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問3 日本の工業において、九州地方が「シリコンアイランド」、東北地方の高速道路沿いが「シリコンロード」と呼ばれるようになった要因として、共通する工業製品の立地上の特徴を説明したものを選びなさい。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 水資源を大量に消費するため、地下水が豊富な山間部のふもとに立地している | 2. 広大な土地を必要とするため、地価の高い都市部を避けて沿岸の埋立地に立地している | 3. 原料が安価で重いため、輸送コストを最小限に抑えられる貿易港の周辺に立地している | 4. 空港や高速道路のインターチェンジ周辺に立地し、トラックや航空機による輸送を活用している |
|--|--|--|--|
- 問4 1960年ごろの日本の輸入は原綿などの原料が中心でしたが、2020年には「機械類」の輸入割合が約27%にまで高まっています。このように、日本が製品である機械類を多く輸入するようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 食料自給率が100%に達したこと、それまで食料輸入に充てていた費用をすべて機械の購入に回したため | 2. 日本企業の生産拠点が海外へ移転し、現地で製造された製品や部品を日本へ送る「製品輸入」が増えたため | 3. 国内の石炭や石油などのエネルギー資源が豊富に採掘されるようになり、燃料の輸入が不要になったため | 4. 1960年代から続く繊維工業のさらなる発展により、世界中から紡績用の大型機械を買い集めているため |
|---|---|--|---|
- 問5 1980年代から2040年までの人口推移のデータにおいて、日本の15歳から64歳の人口層は1990年代にピークを迎えた後、減少が続いています。このような人口構造の変化をもたらしている現代日本の社会現象と、その影響について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| 1. 少子高齢化の進行により、将来的な労働力の不足が懸念されている。 | 2. 老年人口の割合が低下したことで、社会保障制度の維持が容易になっている。 | 3. 高度経済成長による人口爆発により、食料自給率の低下が課題となっている。 | 4. 年少人口の急増により、学校などの教育施設の不足が問題となっている。 |
|------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
- 問6 島根県の石見銀山では、16世紀に「灰吹法」と呼ばれる新しい精錬技術が導入されたことで生産量が飛躍的に増加しました。この出来事が当時の日本や世界に与えた歴史的背景・影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鉄を精錬する技術が銀の精錬に応用されたことで、石見地方は日本最大の鉄砲生産地となり、戦国時代の合戦の形態を大きく変えた。 | 2. 銀の精錬に大量の石炭が必要となったため、周辺の島根県一帯で炭鉱開発が進み、日本におけるエネルギー革命の先駆けとなった。 | 3. 大量の銀が産出されたことで、江戸幕府は世界で初めて金・銀・銅の三貨制度を確立し、鎖国下でも国内だけで完全に自給自足の経済を実現した。 | 4. 銀の生産効率が向上したことで、日本産の銀がアジアやヨーロッパとの交易における主要な支払い手段となり、世界経済に大きな影響を与えた。 |
|---|--|---|--|
- 問7 長野県などの山間部で見られる林業の現状について、高度経済成長期以降の社会状況と関連付けた記述として正しいものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. バイオマス発電への転換により木材価格が急騰し、林業に従事する若者が都市部から大量に流入した。 | 2. 林業の機械化が完了したことで、人手を使わずにすべての木材を安価に生産できるようになった。 | 3. 木材の輸入が厳しく制限されたため、国内の森林資源の活用が急速に進んだ。 | 4. 木材価格の低迷や過疎化・高齢化の影響で、手入れが行き届かない森林が増加した。 |
|---|---|--|---|
- 問8 1970年代には天然ゴムや魚介類が中心であったタイから日本への輸入品目について、2018年の統計で最も大きな割合を占めるようになり、タイの工業化を象徴している品目は何ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 衣類および繊維製品 | 2. 原油および天然ガス | 3. 鉄鋼および非鉄金属 | 4. 機械類や自動車部品 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問9 モンゴル、ボリビア、日本の3か国における輸出額の品目別割合を比較したとき、各国の産業構造の特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. モンゴルは石炭や銅鉱、ボリビアは天然ガスといった鉱産資源が輸出の主軸であり、日本は自動車などの工業製品の割合が高い。 | 2. モンゴルは機械類、ボリビアは自動車といった工業製品が輸出の主軸であり、日本は天然ガスなどのエネルギー資源の割合が高い。 | 3. モンゴルとボリビアは小麦や大豆などの農産物が輸出の主軸であり、日本は石炭や銅鉱といった鉱産資源の割合が高い。 | 4. 3か国とも共通してサービス貿易の割合が最も高く、工業製品や鉱産資源の輸出額は極めて限定的である。 |
|---|--|---|---|
- 問10 日本の現代社会における流通の課題について述べた次の文の空欄にあてはまる用語を選びなさい。「宅配便の取扱個数が増加し続ける一方で、労働環境の改善を目指す法律によって、一人あたりの労働時間に制約が生じ、物流が滞る懸念がある。この課題は（ ）と呼ばれている。」 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|------------|--------------|---------------|
| 1. デジタル・デバイス | 2. 限界集落の拡大 | 3. 高度経済成長の終焉 | 4. 物流の2024年問題 |
|--------------|------------|--------------|---------------|
- 問11 大阪から那覇までの貨物輸送を検討する場合、航空機を利用すると数時間で到着しますが、船舶を利用すると1日以上時間を要します。それにもかかわらず、鉄鋼や機械類などの輸送に船舶が多用される理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 沖縄県には大型機が着陸できる空港がなく、船舶以外の輸送手段が物理的に存在しないから。 | 2. 鉄鋼やセメントは、輸送に時間がかかるほど品質が安定するという特性を持っているから。 | 3. 重量のある貨物を航空機で運ぶと、積載量の制限や燃料費の関係で輸送コストが極めて高くなるため。 | 4. 船舶は航空機に比べて一度に運べる貨物の量が少ないため、小回りの利く輸送が可能だから。 |
|---|--|---|---|

日本の資源と産業プリン
ト

名前

問1	日本の工業地帯・地域ごとの産業特色について、製造品出荷額の割合に基づいた記述として正しいものを次のうちから選びなさい。（2018年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 瀬戸内工業地域は機械工業の割合が約67パーセントと最も高く、自動車生産の拠点となっている。	2. 阪神工業地帯は金属工業の割合が約21パーセントと高く、瀬戸内工業地域は化学工業の割合が約25パーセントと高い。	3. 中京工業地帯は化学工業の割合が約67パーセントに達し、他地域を圧倒している。	4. 阪神工業地帯は化学工業の割合が約25パーセントと高く、瀬戸内工業地域は金属工業の割合が約21パーセントと高い。
問2	日本の農業における「牛肉」の需給バランスについて、1970年から2015年にかけての動向を説明した文として最も適切なものを選択してください。（2018年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 国内消費量が約1400千トンにまで急増する一方で、国内生産量は約400千トン付近で低迷しており、自給率は大幅に低下した。	2. 国内消費量と国内生産量とともに増加した結果、自給率は1970年当時の約90%という高い水準を維持している。	3. 国内消費量が減少した一方で国内生産量が増加したため、自給率は40%から90%へと上昇した。	4. 米の消費量減少に伴って国内生産量が調整された結果、牛肉の自給率は他の農産物よりも高い水準となっている。
問3	廃棄されたパソコンや携帯電話などの電子機器には、希少な資源が含まれている。これらを一つの資源の山と見なし、回収して再利用を推進する考え方を何と呼ぶか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 都市鉱山	2. バイオ燃料	3. シェールガス	4. 海底熱水鉱床
問4	1950年代半ばから1970年代初頭にかけて、日本の実質経済成長率は年平均で約10%という高い水準を記録しました。この時期、日本の生活環境を示す指標の一つである水道普及率は、1950年の20%台から1975年には90%近くにまで急上昇しています。このような飛躍的な経済発展を遂げた時期を何と呼びますか。（2021年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 安定成長期	2. バブル経済期	3. 戦後復興期	4. 高度経済成長期
問5	日本の国内貨物輸送量における輸送機関別割合の推移について、1970年の約18%から、2010年代には5%未満へと大きくシェアを低下させた輸送機関として正しいものはどれですか。（2025年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 船舶	2. 鉄道	3. 航空機	4. 自動車（トラック）
問6	世界自然遺産である知床半島における「自然保護と観光業の両立」を目指す考え方について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 自然環境の回復を最優先とし、観光客を一切受け入れないことで持続可能な社会を実現する。	2. 観光客の増加に伴う環境破壊を防ぐため、特定の区域への人の立ち入りを全面的に禁止する。	3. 大規模なリゾート開発を優先し、交通網を整備することで観光客の利便性と経済利益を最大化する。	4. 生態系への環境負荷を抑える設備を整えることで、環境保全と地域の観光振興を並立させる。
問7	愛知県や沖縄県では、夜間に電灯の光を作物に当てることで、菊などの開花や成長の時期をあえて遅らせる栽培方法が行われています。このような工夫が行われる主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 化学肥料の使用を抑えることで、環境に配慮したブランド農産物として差別化するため	2. 冬の寒さから作物を守ることで成長を早め、他地域よりも早く出荷するため	3. 需要が高まる時期に合わせて出荷時期を調整し、市場価格が有利な時に販売するため	4. 大都市に近い立地を活かして、輸送コストを抑えながら鮮度の高い状態で出荷するため
問8	日本の都道府県別の統計において、再生可能エネルギーの中でも特に地熱発電の発電量が最も多く、火山地帯の熱エネルギーを積極的に活用している都道府県はどこですか。（2019年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 北海道	2. 秋田県	3. 大分県	4. 鹿児島県
問9	高知県の高知平野や宮崎県の宮崎平野では、冬でも温暖な気候とビニールハウスを組み合わせた農業が盛んです。この地域で冬から春にかけてピーマンやナスを「促成栽培」によって出荷する主な理由として、適切なものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 夏の冷涼な気候を利用して、出荷時期をあえて遅らせるため	2. 肥料や農薬を一切使わずに栽培することで、環境への負荷を減らすため	3. 夏の台風による被害を避けるために、収穫時期を冬に固定するため	4. 他の産地からの出荷が少ない時期に販売し、高い価格で取引するため
問10	北海道の根釧台地などでは、冷涼な気候を活かして乳牛を飼育し、生乳などを生産する「酪農」が盛んに行われています。北海道が全国の生乳生産量の半分以上を占める大規模な産地となっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 傾斜の急な山地が多いため、平地での耕作を避けて斜面を利用した放牧が伝統的に行われてきたため。	2. 広大な土地を活用し、大型機械を用いた大規模な牧草栽培と乳牛の飼育が行われているため。	3. 大消費地である東京や大阪に近い立地を活かし、新鮮なまま出荷できる近郊農業が発達しているため。	4. 夏に高温多湿となる気候を活かし、稲作の裏作として家畜の飼育が組み込まれているため。
問11	日本の果実市場において、国内生産量が減少する一方で、輸入量が増加または一定水準を維持するようになった背景にある出来事として、最も適切なものはどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 冷害の影響で国内産の果実が全く収穫できなくなり、輸出を禁止したこと。	2. 食生活が変化し、日本国内で果実の消費が全く行われなくなったこと。	3. オレンジなどの貿易の自由化が進み、外国産の果実が入手しやすくなったこと。	4. 政府が米の増産を優先するため、果実農家をすべて稲作に転換させたこと。
問12	1960年から2010年までの日本の木材供給量の推移を記した資料によると、高度経済成長期を境に国内の森林から生産される「国産材」の割合が大幅に低下し、海外からの木材供給が増加しました。このような変化が起こった背景として、最も適切な説明はどれか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 地球温暖化を防止するために、日本政府が国内の森林での伐採を法律によって全面的に禁止する措置をとったため	2. プラスチックや鉄鋼などの新素材が開発されたことで、日本国内では木材を建築資材として利用する習慣が完全に消失したため	3. 安価な輸入材の流入や円高の影響に加え、国内林業の人手不足や生産コストの上昇により、価格競争力が低下したため	4. 国内の森林資源が完全に枯渇して伐採できる木がなくなったため、すべての木材を海外に頼る方針に転換したため